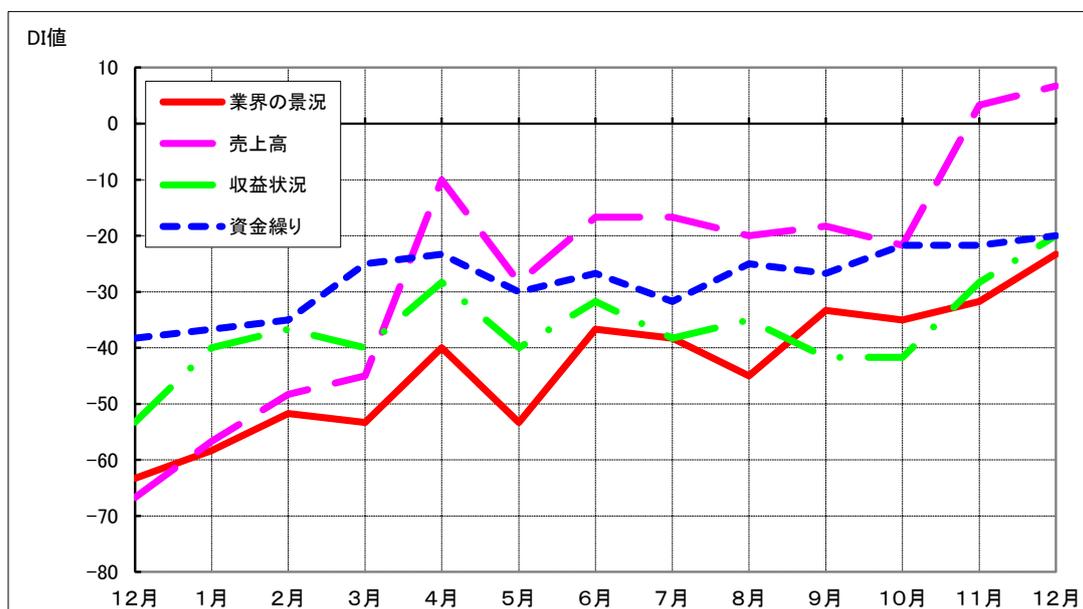


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和2年12月～令和3年12月

単位:ポイント



	R2		R3										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業界の景況	-63.3	-58.3	-51.7	-53.3	-40.0	-53.3	-36.7	-38.3	-45.0	-33.3	-35.0	-31.7	-23.3
売上高	-66.7	-56.7	-48.3	-45.0	-10.0	-28.3	-16.7	-16.7	-20.0	-18.3	-21.7	3.3	6.7
収益状況	-53.3	-40.0	-36.7	-40.0	-28.3	-40.0	-31.7	-38.3	-35.0	-41.7	-41.7	-28.3	-20.0
資金繰り	-38.3	-36.7	-35.0	-25.0	-23.3	-30.0	-26.7	-31.7	-25.0	-26.7	-21.7	-21.7	-20.0

12月のDI値は前月と比べ、4項目全て改善となった。「業界の景況」DI値は8.4ポイント、「収益状況」DI値は8.3ポイント、「売上高」DI値は3.4ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイントそれぞれ改善した。前年同月比でみると、全項目で改善しており、「売上高」DI値は73.4ポイント、「業界の景況」DI値は40.0ポイント、「収益状況」DI値は33.3ポイント、「資金繰り」DI値は18.3ポイントそれぞれ改善となった。

製造業においては、11月と同様に受注は増加傾向にあるが、原材料費の高騰が収益を圧迫している。適正な販売価格への費用転嫁のタイミングや受注判断の難しさが課題になっている。

非製造業においては、人流が活発になり、特に小売、卸、商店街で売上が好転しているとの意見が多かった。商店街では年末大売出し等のイベントを開催し、消費を後押しした。一方、サービス業では、依然として不振が続いており厳しい状況とのことであった。

街に徐々に人が戻り始めてはいるが、新型コロナウイルス発生前の販売量や売上までは回復していない事業者が大多数のようである。新たにオミクロン株も出現しており、今後の影響を懸念する声も見受けられた。

組合の特記事項として、製造業では、自動車販売及び部品関連の動きは鈍化しているが、建設関連部品や農機具、除雪用品などは堅調に推移している。新型コロナウイルス感染者の減少により、飲食業関連商品の動きも出始めている。

飲食業やホテル業では、県民割等の影響で来客は増加しているが、宴会等は依然として低調であり売上の回復は小幅にとどまっている。